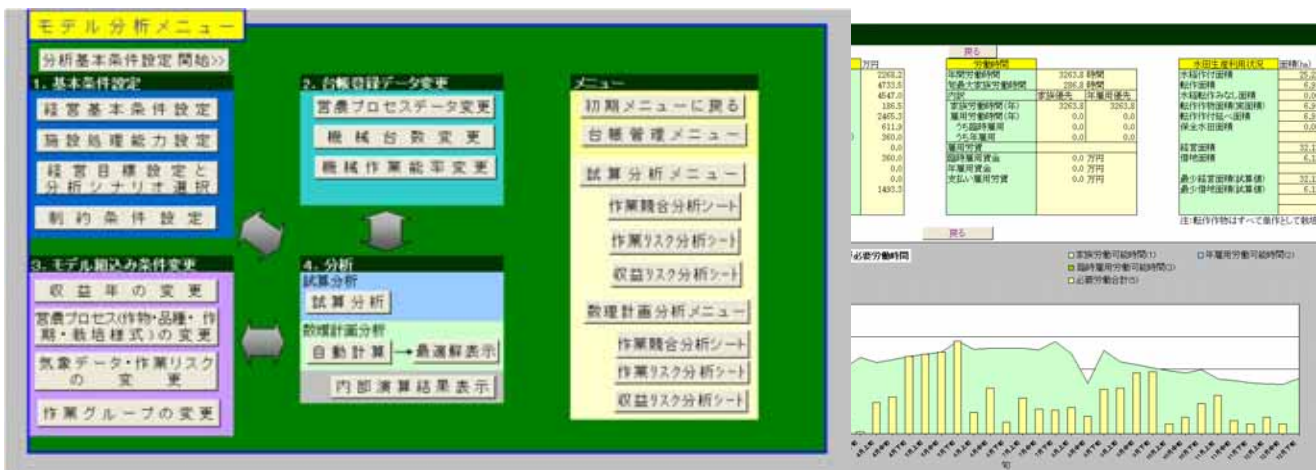


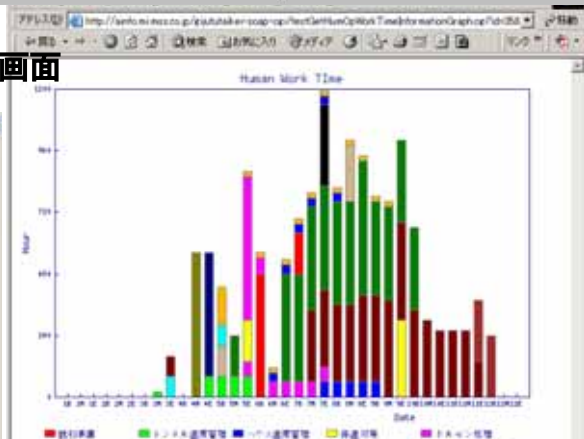
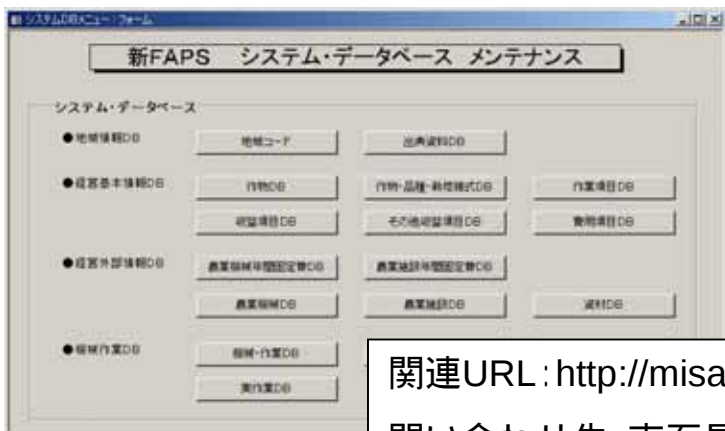
農業技術体系データベースによる営農計画支援

- 土地利用型経営では降雨条件などによる作業遅延や作業不能といった作業リスクの伴い、多様な営利が収益も所得目標を明示的に考慮できる営農計画手法が必要となっている。
- 例えば、経営体のおかれた条件の中で、どのような規模で、どのような作物・品種をいづれ作業するかの良いか、その際、大規模経営では雨量が多いために農作業が行えないうの営農を目標とするか、良いのが良いのか、逆にリスクを回避して安定的な営農を目指す方が、良いのか、あるいは、所得を減らし、リスクを回避する営農が望ましいのか、こうした疑問に答えたい。
- 営農技術体系評価・計画システムと農業技術体系データベースを組み合わせることにより、新規作物・部門の導入、農業機械・施設投資、規模拡大、資金借入といった重要な経営意思決定の支援情報が得られる。

営農技術体系評価・計画システムの分析メニュー と 最適化分析結果画面



農業技術体系データベースの管理画面と営農指標画面



関連URL : <http://misa.ac.affrc.go.jp/faps/index.html>

問い合わせ先: 南石晃明 nanseki@affrc.go.jp